

今月の新着図書

一般

おすすめ

『ヤマトタケルの日本史』

井上章一／著 中央公論新社

ヤマトタケルは女装で敵をだまし、討ちはたす。日本人はこの皇子を民族の英雄として語りついでいる。建国神話から義経伝説、帝国軍人まで、敵を悩殺する日本史の英雄たちを自在に訪ね、性の日本文化史を描き出す。



『無縁老人』石井光太／著 潮出版社

『巨樹・巨木図鑑』小山洋二／著 日本文芸社

『ヘンな信号機』丹羽拳士朗／著 イカロス出版

『脇役たちの西洋史』有光秀行・鈴木道也／編 八坂書房

『世界の食はどうなるか』イェルク・スヌーク／著 ほか 原書房

『ビジュアルクジラ&イルカ大図鑑』エリック・ホイト／著 ほか 日経ナショナルジオグラフィック

児童

おすすめ

『がっこうへくまをつれていかないで』 マーク・スペアリング／文

ブリッタ・テッケントラップ／絵 みはらいずみ やく しゅつぽん
三原泉／訳 BL出版

がっこうへくまをつれていかないでね。教室にはくまが座れるいすはないし、みんなの給食をぜんぶ食べちゃうかもしれない。きみひとりでも大丈夫。なぜかっていうとね…。不安な気持ちにそっとよりそう絵本。



『わらって!』わかる／作 講談社

『109 ひきのどうぶつかくれんぼ』のはな はるか／作・絵 堀川晃菜／監修 ひさかたチャイルド

『全国小学生おばけ手帖 とぼけた幽霊編』田辺青蛙／原案 岩田すず／作 静山社

『イナバさんと夢の金貨』野見山響子／文絵 理論社

『くさい食べ物大図鑑』前橋健二／監修 岡本倫幸／画 杉本龍一郎／画 開発社／編 金の星社

『人間は料理をする生きものだ』森枝卓士／文・写真 福音館書店

※出典:TRC-MARC

スタッフのおすすめ

『このゴミは収集できません』

滝沢秀一／著 白夜書房

お笑い芸人とゴミ清掃員。2つの職業を経験する著者が見たゴミ清掃員の日常。普段、何気なく出しているゴミからこんなに考察できる事があるなんて…。プツと笑い、ドキッとさせられる人も多いはず。私も自分に出来る事から始めようっと。

By ピョル

『福沢諭吉が見た 150 年前の世界』

福沢諭吉／著 武田知弘／訳・解説 彩図社

元祖地球の歩き方?!『西洋旅案内』を現代語訳したこの本を読めば、諭吉と一緒に旅をした気持を味わえます。面白海外エピソードの中でも印象的だったのは、外科手術の見学時に気を失ってしまったというもの。諭吉を身近に感じました。

By てんてん

じどうとしよ
児童図書おすすめ

おいしいパンの本



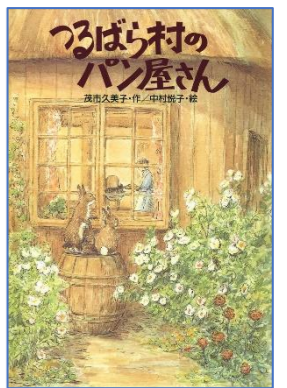
『ふかふかパンのひみつ』

ひさかたチャイルド

『つるばら村のパン屋さん』

茂市久美子／作 中村悦子／絵

講談社



『パンやのくまさん』

フィービ・ウォージントン／さく・え

セルビ・ウォージントン／さく・え

まさき るりこ／やく 福音館書店



『どすこいみいちゃん
パンやさん』

町田尚子／作 ほるぷ出版

『ぼんちんぱん』

柿木原政広／作

福音館書店

